

# 医療、福祉情報共有を

## 合志市社協 ネットワーク構築へ

合志市社会福祉協議会が、市内の医療や福祉、教育など各分野をつなぐネットワークづくりを進めている。生活に困る高齢者や支援が必要な障害者らの情報を共有し、市全体でカバーする体制を目指す。

ネットワークの構築は県の補助事業を活用し、同社協が昨年12月にスタート。新型コロナウイルスの影響で高

齢者や障害者施設、病院間の交流が難しくなる中、「横の連携を強め、解決方法を共有できれば」と企画した。

児童養護施設「熊本天使園」や知的障害者就労支援施設「野々島学園」、熊本再春医療センターなどが参加し、「感染対策で地域と関わる機会が減った」「オンラインを使ったイベントのアイデアがあれば教えて」といった意見が出た。

(深川杏樹)

23日は3回目の会議を熊本高専の協力を得て初めてオンラインで開き、13団体が運営状況を報告した。

今後毎月1回会議を開く予定で、同社協地域福祉課は「新年度はネットワーク全体で具体的な支援事業に着手したい」としている。